

京都造形芸術大学の名称変更についての京都市長コメント

京都造形芸術大学は、「京都文藝復興」「藝術立国」との建学の理念のもと「京都芸術短期大学」として開学され、「京都造形芸術大学」へ進展、そして大学院の設置と、目覚ましい発展を遂げられ、幅広い分野で活躍する芸術家を輩出し、文化芸術の振興に貢献してこられ、本市とも連携を深めてまいりました。

そして、京都市立芸術大学は、明治維新で都市存亡の危機に直面した京都において、先人たちの熱意により我が国初の画学校として設立され、以降、時代を先導する優れた芸術家を数多く輩出してきました。

京都市立芸術大学と京都造形芸術大学は、京都の芸術系大学として、それぞれ確固たる理念と伝統を持つ素晴らしい大学です。これまで、ともに切磋琢磨し、他の芸術系大学とともに芸術の発展と担い手の育成に取り組み、京都の、さらには日本・世界の文化芸術の発展に貢献してきました。

京都市立芸術大学の卒業生は、大学名に誇りを持って活躍し、世界で「京都芸大」「京芸」卒業生としての活動実績を積んでいます。大学の名称は、大学に関わってきた、そして大学を支えていただい

多くの市民や関係者の方々の想いが込められている非常に大切な
ものです。

京都造形芸術大学の名称を「京都芸術大学」に変更されると聞き、
驚愕しています。大学が新たに名称を変更される場合は、既存の大学
と混同しないよう、明確に識別できるようにすべきであります。

京都造形芸術大学におかれては、今一度新しい名称を再考され、両
大学が共に伝統と文化を継承し、発展していくことを望みます。

なお、京都市立芸術大学は、教育方針をはじめ、自主的・自律的な
運営・決定を行う大学法人であり、今後については、京都市立芸術大
学において適切に対応されることと考えます。本市は、大学及び卒業
生の意志を尊重してまいります。

令和元年8月28日

京都市長 門川大作

京都市行財政局
総務部総務課

075-222-3045